

平成29年度 決算 認定

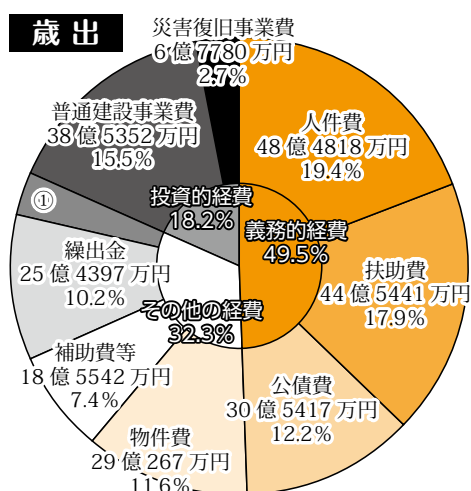
一般会計 歳出決算は前年度に比べ3億3155万4千円増加



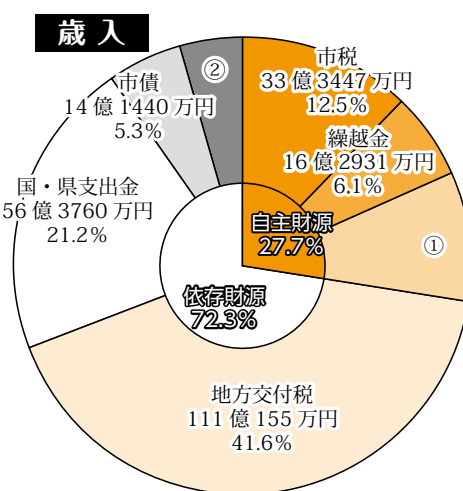
決 算特別委員会（衛藤竜哉委員長）が、9月20日と21日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月27日の本会議で採決の結果、認定されました。

《一般会計決算の内訳》



- ①その他の経費 7億5956万円 (3.1%)
- 【内訳】
- ◆維持補修費 1億292万円 (0.4%)
 - ◆積立金 6億1119万円 (2.5%)
 - ◆投資・出資金・貸付金 4545万円 (0.2%)

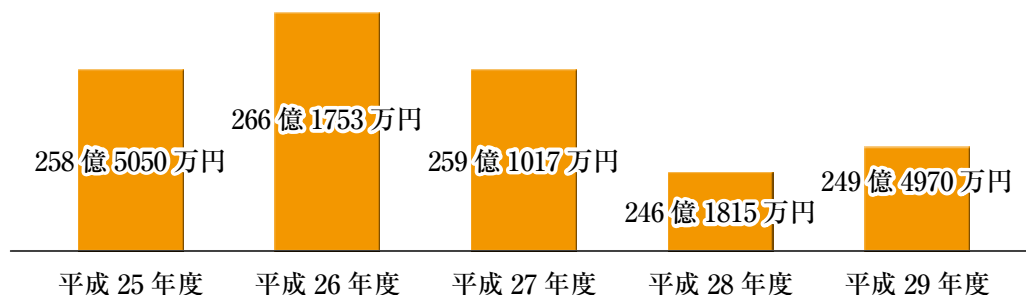


- ①その他自主財源 24億2799万円 (9.1%)
- 【内訳】
- ◆分担金及び負担金 3億6757万円 (1.4%)
 - ◆使用料及び手数料 4億8419万円 (1.8%)
 - ◆財産収入 5495万円 (0.2%)
 - ◆寄附金 8862万円 (0.3%)
 - ◆繰入金 11億5157万円 (4.3%)
 - ◆諸収入 2億8109万円 (1.1%)
- ②その他依存財源 11億2883万円 (4.2%)
- 【内訳】
- ◆地方譲与税 3億4987万円 (1.3%)
 - ◆地方交付金 7億7896万円 (2.9%)

合計 **249 億4970 万円**

合計 **266 億7415 万円**

5年間の一般会計歳出決算の推移



※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。

《各会計の決算状況》

会 計 名		歳 入	歳入前年度比	歳 出	歳出前年度比
一 般 会 計		266億7415万1千円	- 6228万2千円	249億4970万3千円	+ 3億3155万4千円
特別会計	国民健康保険	61億421万円	+ 8569万9千円	56億4718万5千円	- 7207万7千円
	後期高齢者医療	5億7074万2千円	+ 1866万2千円	5億6747万9千円	+ 1821万7千円
	介護保険	64億8981万7千円	+ 1億2482万8千円	63億7402万1千円	+ 1億3117万9千円
	農業集落排水	2億3679万7千円	+ 1361万3千円	2億1479万円	+ 178万7千円
	公共下水道	8702万円	+ 558万6千円	7832万1千円	- 67万8千円
	浄化槽施設	4635万2千円	- 133万3千円	4325万8千円	- 228万7千円
	簡易水道	3億5158万8千円	- 1億4984万7千円	3億1517万5千円	- 1億7213万1千円
	太陽光発電事業	1億5121万1千円	+ 563万6千円	1億3162万9千円	+ 1777万9千円
計		140億3773万7千円	+ 1億284万4千円	133億7185万8千円	- 7821万1千円
合 計		407億1188万8千円	+ 4056万2千円	383億2156万1千円	+ 2億5334万3千円

会 計 名		歳 入	歳入前年度比	歳 出	歳出前年度比
企業会計	上水道	収益的収支 2億8102万1千円	+ 570万7千円	2億6835万1千円	+ 1722万9千円
		資本的収支 445万4千円	- 6万5千円	7181万9千円	+ 183万4千円
	病院事業	収益的収支 35億1549万円	- 8832万8千円	37億3285万円	- 4186万8千円
		資本的収支 5367万8千円	+ 2005万4千円	2億9746万3千円	+ 4785万6千円

地方債(借金)

会 計 名	28年度末現在高	29年度末現在高
一 般 会 計	246億9625万8千円	232億4746万1千円
特別会計	農業集落排水	9億9408万9千円
	公共下水道	3億2419万5千円
	浄化槽施設	4756万2千円
	簡易水道	12億3623万円
	上水道	25億9751万9千円
	豊後大野市病院	28億6009万1千円
合 計		327億5594万4千円

一般会計・特別会計

基金(貯金)

会 計 名	28年度末現在高	29年度末現在高
一般会計	財政調整基金	59億7580万5千円
	減債基金	18億250万2千円
	その他特定目的基金	115億8049万5千円
	その他定額運用基金	6億8083万円
特別会計	国民健康保険基金	4億5554万2千円
	高額療養費貸付基金	500万円
	出産資金貸付基金	300万円
	介護給付費準備基金	5億4010万6千円
	農業集落排水事業基金	839万6千円
	公共下水道事業基金	207万8千円
	浄化槽整備推進事業基金	361万円
	簡易水道事業基金	9222万円
合 計		211億4958万4千円

一般会計・特別会計

本市の平成29年度一般会計及び8特別会計の決算は、いずれも黒字決算であった。財政状況を客観的に表す健全化判断比率の各比率は、早期健全化基準以下であり良好といえる。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は89・1％と、前年度に比べ3・4ポイント上回っている。

基金は27基金で、前年度より8449万4千円増加し、212億3407万7千円となっている。

自主財源比率は、市税の増額と収納率の向上などにより27・7％と、前年度に比べ0・6ポイント上昇しているが、依然として地方交付税を中心とした依存財源が高い割合を占めている。

普通交付税が段階的に縮減される中で自主財源を確保

公営企業会計は独立採算が原則であるため、引き続き計画に基づいた経営の健全化に努められたい。

今後も財政健全化に向けた行政改革を行い、市民福祉の向上に努め、各種施策に取り組むことを希望する。

監査委員の意見
財政健全化の
取り組みを



益永孝則代表監査委員